

# 「高千穂杉」使用の(株)長崎材木店

# 東國原知事訪問歌

「別荘風の家、落ち着きますね」

宮崎県鹿児島市、杉の森地帯で名高い宮崎県西諸村那須千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の  
3町駄貝、3町の山主ら合わせて17人とともに防れ、長崎社長をはじめ大勢の人や特に受けたいたテレビ局の歓迎を述べた。さすがに知能の高さと人気は、宮崎県外でも高い。  
東国原知事は、さっそく長崎木材店の住宅展示場で宮崎鹿児島の南千葉松を使つた山莊風の「美しい家」を、長崎社長の説明を受けながら見学した。「美しい家」は、広い空間を組みした別荘風の建物で、大

抱えるるぐらい大きなか木と組みなどを見せて、良質な木材を求めて、宮崎県材木店は、家づくりに適した山の資材を求めて、宮崎県材木店は、日本人に適した木でついた家具を使つて、どうぞ。おもな木を使つて、現地の森林組合と直接接して、山ごと買付けると同時に、森林の契約もして、年間、1千約20種分の木材を取得できるため約60種分になります。

同社はこれをきっかけに、家族子供を含めて約1サーを対象とした「森林体験などの企画を」

住宅展示場を見学する東国原知事(右)  
左は長崎秀人社長



大きな大黒柱に驚く東国原知事

宮崎県の東園原英夫知事が7月25日、吉賀市天神5丁目の櫻長崎材木店(販路秀人社長)を訪れ、同社社長や建築業者と交流を深めた。長崎材木店が毎年、宮崎県産の杉の木を販売する「宮崎県物産のPR」に力を入れていて、そのPR活動の一環として、東園原知事が、お意図を悉く説明された。東園原知事は、長崎社長や宮崎県産の杉の木を使って築した建築主にお礼と感謝の言葉を述べ、記念撮影に笑顔を振りまいていた。

建築士らと歓談する東国原知雄

△社名／株式会社長野木  
木店△所在地／福岡県古賀市  
明治30年4月10日△代表取  
締役△畠崎秀人△賞業種△地  
建物、木材、資材事業部  
宅事業部、地改修事業部  
管理仲介事業部△築堤工事  
地建物、木材、資材事業部  
部△TEL／092（94  
3）5724△FAX／0